

## 2015 年度活動報告

地方計画部会 部会長 増田 聡

地方計画部会は、建築計画、都市・地域計画、都市デザイン、コミュニティ・オーガニゼーション等を専門とする研究者・実務家で構成されており、今回の震災復興の過程では、避難所・仮設住宅の設置・運営、復興計画の策定から復旧・復興事業の実施、高台移転等の宅地造成や復興公営住宅の設計建設、復興まちづくりなどの多様な局面で、直接・間接の関わりを求められてきた。

一方で、震災復興の各場面では、福祉・教育・産業等を含む多方面のステークホルダーの参加が重要であるとも考えられ、部会会員を含めた「諸主体の橋渡し」を実現し、更なる連携交流の推進が求められる。そこで、地方計画部会では、みやぎボイス連絡協議会（構成メンバーは、以下の通り。（公社）日本建築家協会東北支部、みやぎ連携復興センター、（一社）東北圏地域づくりコンソーシアム、共創造する復興推進プロジェクト研究会（民間企業で構成））とともに、「みやぎボイス 2015：復興を橋渡しするもの」の開催に向けて、その企画段階からイベント運営にあたった。

地方計画部会としての具体的な成果は、まず、初日（2015.04.11）の「復興状況の報告」において、東松島市等における計画体系及び内容の見直しに関わる話題提供を行い、地方人口ビジョン・市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定等の関連も踏まえた問題提起を行った。次に初日午後及び翌日には、中心市街地・平野部・半島部という地域区分毎にラウンドテーブルを実施し、震災直後のビジョン共有から復興事業の実施、まち開き等までの経験の共有化や、集中復興期間後の諸課題の検討を行い、最終報告書にまとめて公表した。みやぎボイスの狙いである「現場・現地の経験・工夫の共有化」は、テーブル周りの参加者を含めて一定程度実現できたが、様々な制度的制約もあり、福祉系専門家との情報交換などの面で、残された課題があることも確認できた。